

授業科目 教育社会制度論 II

【担当教員名】 吉田 重和		対象学年	2	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	自由
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【概要・一般目標：GIO】 価値観が多様化・複雑化している現代社会において、学校教育を中心とする教育制度もまた、多様化・複雑化してきている。「教育社会制度論Ⅰ」に引き続き、現代社会において、子どもの教育の質を保証するための仕組みが制度的・行政的にどのように確立されているかを受講者が理解することを、本講義の目標とする。また、講義の進行状況に応じて、教育基本法をはじめとする主たる教育関連法規の理念や内容についても概観していく。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育法の概要及び重要条文の内容を理解し、必要な場面において、教員として相応しい判断を下すことができる。 2. 教職員と教育行政に関する諸法規の概要及び重要条文の内容を理解し、必要な場面において、教員として相応しい判断を下すことができる。 3. 教員の養成及び研修に関する諸法規の概要及び重要条文の内容を理解し、必要な場面において、教員として相応しい判断を下すことができる。 4. 社会教育・児童福祉・人権に関する諸法規の概要及び重要条文の内容を理解し、必要な場面において、教員として相応しい判断を下すことができる。 5. 現代の教育行政改革の概要を理解し、自身の言葉でその現状と課題を説明することができる。 6. 指定課題文の読解とグループワークを通して、教育制度上の様々な問題について、その概要とポイントを理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	学校教育法の概要			1	講義
2	教職員と教育行政に関する諸法規の概要			2	講義
3	教員養成・研修制度			3,6	講義、グループワーク
4	社会教育・児童福祉・人権に関する諸法規の概要（1）			4	講義
5	社会教育・児童福祉・人権に関する諸法規の概要（2）			4	講義
6	現代の教育制度改革の動向と課題（1）			5,6	講義、グループワーク
7	現代の教育行政改革の動向と課題（2）			5	講義
8	まとめ			1-5	講義、グループワーク
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		現代教育の制度と行政	河野 和清 他	福村出版	2008・2,300円＋税
		現代教育制度論	土屋 基規	ミネルヴァ書房	2011・2,800円＋税
		やさしい教育法規の読み方 新訂4版	菱村 幸彦	教育開発研究所	2008・3,150円
		はじめて学ぶ教育法規 全訂新版	菱村 幸彦	教育開発研究所	2008・2,205円
その他の資料		必要に応じて資料を配布			
【評価方法】 平素の学習状況（出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容／25％程度）及び定期試験の結果（75％程度）を総合的に判断して評価する。			【履修上の留意点】		